

令和3年度・4年度の委員会の意見について
(次期計画への反映を検討していくもの)

資料3

委員		主な意見等(趣旨)
山形県医師会	中目委員	・訪問診療の実施件数について、国による調査・公表を待たずに県独自に把握してほしい。(令和3年度)
山形県看護協会	若月委員	・訪問看護等の数値目標について、盛り込んでいただきたい。(令和3年度)
山形県理学療法士会	高橋委員	・ケア会議について、要支援2までの軽度の方だけでなく、要介護3以上の重度の方も含めて検討していく必要があるのではないかと。(令和4年度) ・在宅におけるリハビリテーションの推進が重要。訪問看護等の他、訪問リハ、通所リハについても数値目標をプランに盛り込んでいただきたい。(令和3年度、令和4年度) ・保健事業と介護予防の一体的実施について、数値目標に盛り込んでいただきたい。(令和3年度)
山形県社会福祉協議会	玉木委員	・高齢者が生き生きと健やかに安心して暮らしていただくよう、引き続き、介護予防の施策が非常に重要である。 ・地域共生社会の実現に向け、支援する側、される側の区別が無い社会を作っていくため、施策の後押しをお願いしたい。
山形県民生委員児童委員協議会	高野委員	・認知症サポーターを受講した方がその後、地域で関わっていく仕組みが必要ではないかと。(令和3年度)
山形県老人福祉施設協議会	峯田委員	・外国人介護人材の確保に係る取組みや、数値目標を盛り込んでいただきたい。(令和3年度、令和4年度) ・介護サービス事業所や施設職員等に対する利用者や家族からのハラスメントについて、施策に盛り込んでほしい。(令和3年度) ・介護人材の確保について、人材派遣会社をお願いしている実情があり、費用面の負担が大きいため、対策が必要。(令和4年度)
山形県老人保健施設協会	佐々木(大)委員	・介護現場における生産性向上について、数値目標を設定してはどうか。(令和4年度)
山形県介護支援専門員協会	阿部委員代理	・介護支援専門員について数が不足している。介護職員だけでなく、介護支援専門員数などを数値目標としてはどうか。(令和3年度)
山形県介護福祉士会	佐々木(利)委員	・介護現場の生産性向上等、業務を改善し、利用者の方のよりよい生活に結びつけることが必要。(令和4年度) ・介護人材の確保について、人材派遣会社をお願いしている実情があり、費用面の負担が大きいため、対策が必要。(令和4年度)
認知症のひとと家族の会山形県支部	佐藤委員	・認知症の方も障がい者も地域に暮らす誰もが安心して生活できるよう、地域づくりや通いの場等の居場所づくりが必要。(令和4年度)
山形市	松浦委員代理	・介護人材の確保について、合わせて定着も重要であり、介護の質の向上のためには、職員の働きがいや職場の魅力づくりが必要。(令和4年度)
東北文教大学	横尾委員	・介護人材を増やす取組みと合わせて、定着や質の向上についても重要である。介護に関する基本的な学びの確認等のリカレント教育について、定着・質の向上に向けた仕組みが必要。(令和4年度) ・外国人介護人材支援センターについて、教育も巻き込んでほしい。(令和4年度)
篠田総合病院	阿曾委員	・認知症の方や一人暮らし高齢者等、運転免許が無くとも、通院できる環境を整える必要がある。(令和4年度)
特定非営利活動法人あじさい	伊藤委員	・外国人介護人材に対して、例えば、運転免許取得や介護福祉士の資格取得など、支援策を充実させていただきたい。(令和4年度)